

画面で見るマニュアル (Windows編)

耐衝撃ポータブルハードディスク
HDPD - UTDシリーズ



使い方.....3

[G-SELECTOR機能について](#) 3

[つなぐ](#) 3

[確認する](#) 4

[起動中に取り外す場合](#) 5

バックアップする.....6

[バックアップアプリ Acronis True Image Personal 2016](#) 6

[①プロダクトキーを入手する](#) 7

[②インストールする](#) 9

[③レスキューメディアを作成する](#) 12

[④バックアップする](#) 15

[⑤リカバリーする](#) 17

フォーマットする.....18

[フォーマットとは?](#) 18

[フォーマットする](#) 19

[パーティションを作り直す](#) 22

困ったときには.....26

データをコピーする.....30

使い方

バックアップする

フォーマットする

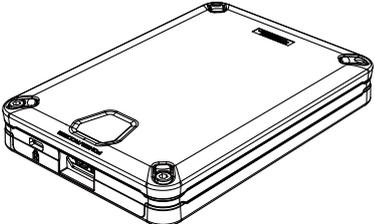
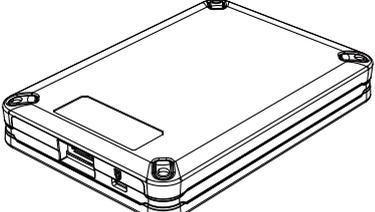
困ったときには

データをコピーする

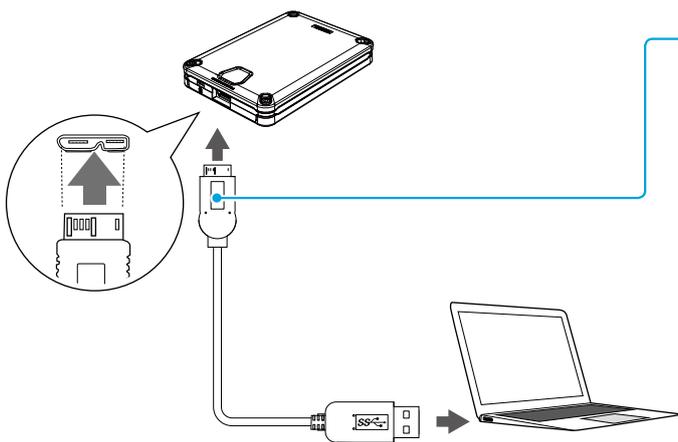
使い方

G-SELECTOR 機能について

本製品にはGセンサーを内蔵しており、本製品を置く向きにより、A面/B面を検出し、異なる動作をおこないます。

<p>A面</p> 	<p>HDD と仮想DVD-RW として動作します。 仮想DVD-RW は、DVD-RW メディアとして書き込めます。 本製品のランプが見える方を上にしてパソコンを起動するとA面になります。</p>
<p>B面</p> 	<p>HDD と仮想CD-ROM として動作します。 仮想CD-ROM 内には、「Acronis True Image Personal 2016」のインストーラーが収録されています。 (仮想CD-ROM の内容は削除できません。)</p>

つなぐ



付属のUSBケーブルでパソコンのUSBポートにつなぐ
※ コネクタの向きにご注意ください。

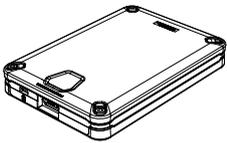
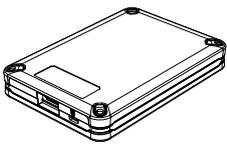
本製品のA面、B面にご注意ください

パソコンの電源を入れる前(本製品を接続する前)に、本製品のA面/B面にご注意ください。
添付ソフトウェア「Acronis True Image Personal 2016」をインストールする場合のみ、B面にしてください。
(上図のようにランプのあるほうを上にとすると、A面になります。)

確認する

[コンピューター] に下のようなアイコンが追加されていれば、本製品を使用できます。

※ドライブ文字は、お使いのパソコンにより異なります。

<p>A面 仮想DVD-RW</p>   HDPD-UTD (H:) 空き領域 █████ GB/████ GB  DVD RW ドライブ (G:) 空き領域 █████ GB/████ GB	<p>HDD として使用する他に、本製品の一部を仮想 DVD-RW メディアとして認識します。通常の DVD-RW と同様にデータの書き込みや保存したアプリの起動などができます。データの書き込みは、Windows 標準のライティングでできます。</p> <p>※書き込み方法については、Windowsのヘルプをご確認ください。</p>
<p>B面 仮想CD-ROM</p>   HDPD-UTD (H:) 空き領域 █████ GB/████ GB  CD ドライブ (G:) HDPD-UTD 空き領域 0 バイト/426 MB CDFS	<p>HDDとして使用する他に、本製品の一部を仮想 CD-ROMとして認識します。CD-ROM内に収録されている「Acronis True Image Personal2016」をインストールできます。</p>

アイコンが表示されない場合

- 【本製品のアイコンがない(正常に認識されない)】(26 ページ)をご覧ください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

起動中に取り外す場合

1 ▼画面右下のタスクトレイ



⬆️ (⬆️*) をクリック

※アイコンは、OSにより異なります。
※上記アイコンが無い場合は、手順2へお進みください。

使い方

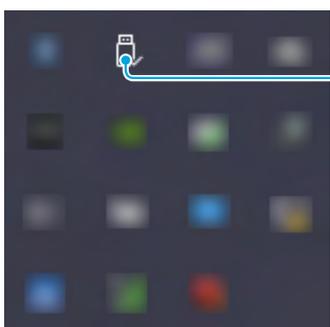
バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

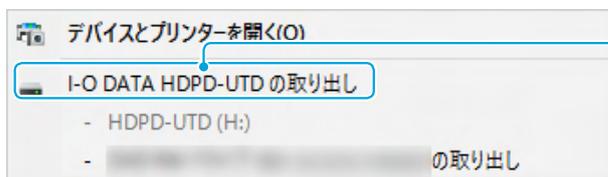
2



🗑️ (🗑️*) をクリック

※アイコンは、OSにより異なります。

3



[I-O DATA HDPD-UTD の取り出し] をクリック

※HDD、仮想CD-ROM (仮想DVD-RW) のどちらか一方のみを取り外すことはできません。両方とも取り外しされます。

4 メッセージを確認し、本製品を取り外す

本製品を取り外す際

- コネクタを持って抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると、故障の原因になります。

これで取り外し完了です。

この方法で取り外せない場合は、パソコンの電源をOFFにしてから取り外してください。

バックアップする

バックアップアプリ Acronis True Image Personal 2016

Acronis True Image Personal 2016 は、重要なデータを保護し、障害が発生した際に迅速に復旧するアプリです。

Acronis True Image Personal 2016 は、G-SELECTOR機能で、本製品内に保存されています。

以下にご注意の上ご使用ください。

- ・アクティブ化のためインターネット接続環境が必要です。
- ・Macには対応していません。

ここでは、本製品を利用して、以下の手順でバックアップ設定をおこなう例を説明しています。

① Acronis True Image Personal 2016 の「プロダクトキー」の入手

[【①プロダクトキーを入手する】 \(7 ページ\)](#)

② Acronis True Image Personal 2016 のインストール

[【②インストールする】 \(9 ページ\)](#)

③ レスキューメディア(起動メディア) を作成(本製品の仮想DVD-RWに書き出し)

[【③レスキューメディアを作成する】 \(12 ページ\)](#)

④ パソコンのデータを本製品にバックアップする

[【④バックアップする】 \(15 ページ\)](#)

⑤ バックアップデータからリカバリーする

[【⑤リカバリーする】 \(17 ページ\)](#)

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

①プロダクトキーを入手する

1 以下のWebページにアクセスする
<https://ioportal.iodata.jp/>



IOPortalへログイン

はじめて登録する場合はこちら



[製品を登録する] をクリック



① 対象商品のシリアル番号を入力

② [製品を登録する] をクリック



[登録製品の一覧へ戻る] をクリック

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「पी」する

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

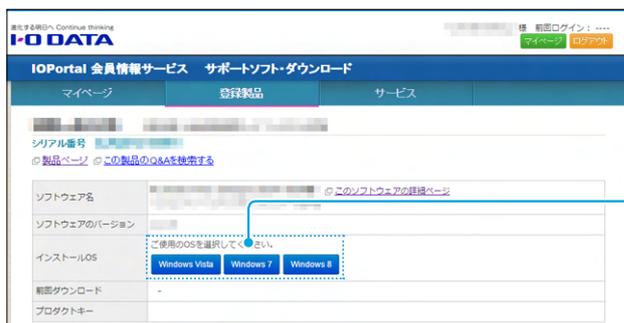
データを「コピー」する

6



対象製品の[ダウンロード]をクリック

7



お使いのOSを選ぶ

8



[ダウンロード]をクリック

※ Acronis True Image Personal 2016のリリースノートファイルをダウンロードします。ソフトウェア本体はダウンロードできません。

9



プロダクトキーをメモ帳などにコピーする

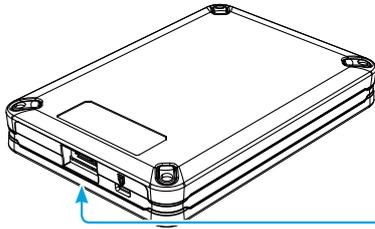
※ ソフトウェアのアクティブ化に使用します。

プロダクトキーを確認する

- 手順7の画面に[キー通知]が追加されています。これをクリックすると、プロダクトキーが表示されます。
- 初回ダウンロード時に送信されたメールにもプロダクトキーが記載されています。

②インストールする

- 1 本製品のB面を上にしてつなぐ

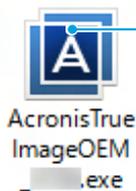


ランプが下面にくるように置く

- 2 仮想CD-ROM アイコンを開く



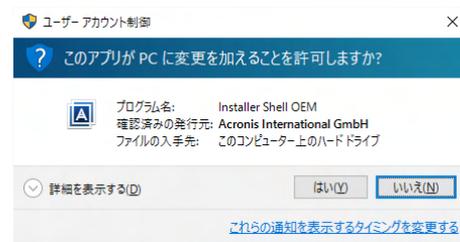
- 3



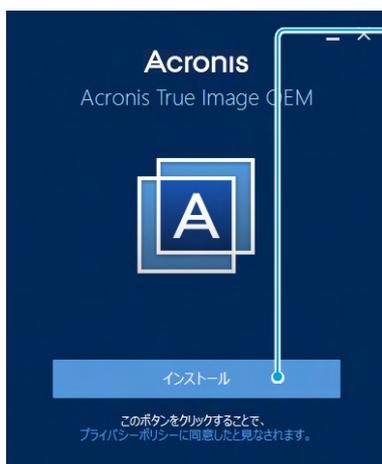
[Acronis.....] をダブルクリック

ユーザーアカウント制御が表示された場合

以下の画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。



- 4



[インストール] をクリック

インストールを開始します。
しばらくお待ちください。

5



インストールが終わったら

[アプリケーションを開始] をクリック

6



①内容を確認し、[同意する] にチェック

②[OK] をクリック

7



[アカウントの作成] をクリック

※Acronis 社のアカウントがある場合は、アカウント情報を入力し、[サインイン] してください。

8



①Acronis社のアカウントを作るため、情報を入力

②[アカウントの作成] をクリック

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「コピー」する

9



①入手したプロダクトキーを入力

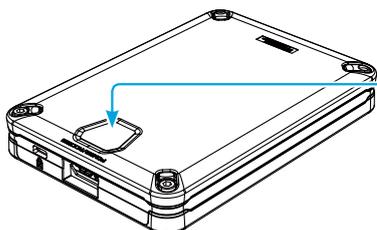
※ "-" (ハイフン) は自動入力されます。

②[有効化] をクリック

10 本製品をいったん取り外す

[【起動中に取り外す場合】 \(5 ページ\)](#)

11 本製品のA面を上にしてつなぐ



ランプが上面にくるように置く

以上で、インストールは完了です。

次に[【③レスキューメディアを作成する】 \(12 ページ\)](#) をご覧ください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「コピー」する

③レスキューメディアを作成する

レスキューメディアのISOファイルを作成し、本製品A面の仮想DVD-RWに書き出す方法を説明しています。

※書き出し先は、お手持ちのCD-RメディアやUSBメモリーなどでも可能です。

使い方

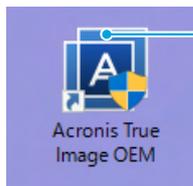
バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

1



[Acronis True Image OEM]
をダブルクリック

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

2



① をクリック

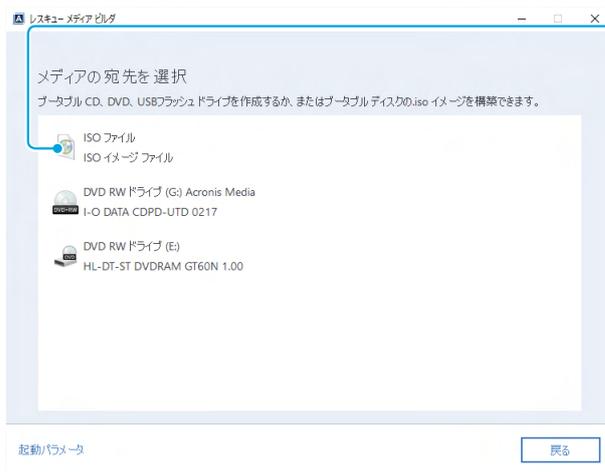
② [レスキューメディアビルダ] を
クリック

3



[Acronis ブータブルレスキュー
メディア] をクリック

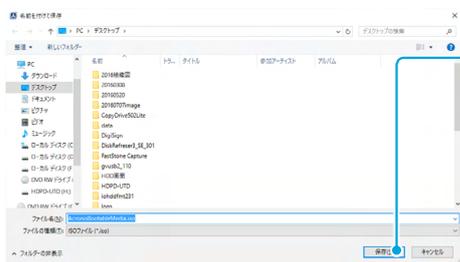
4



[ISO ファイル] をクリック

※本製品の仮想DVD-RWドライブには、直接書き込めませんので、選択しないでください。

5



ISO ファイルの名前と保存場所を選び、[保存] をクリック

6



内容を確認し、[実行] をクリック

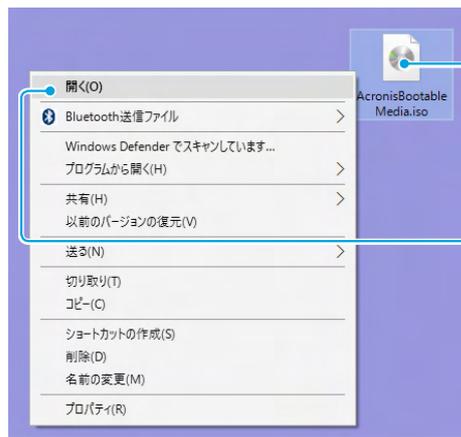
ISO ファイルを作成します。
しばらくお待ちください。

7



[閉じる] をクリック

8

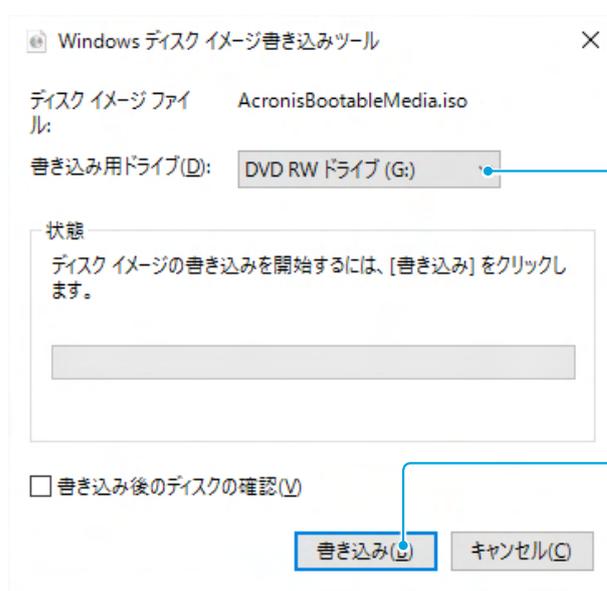


①作成されたISO ファイルを
右クリック

②[開く] (または、[ディスク
イメージの書き出し]) を
クリック

[開く] や[ディスクイメージの書き出し]が表示されない場合は、**【ISOファイルの右クリックメニューに[開く] ([ディスクイメージの書き出し])が表示されない】** (29 ページ) をご覧ください。

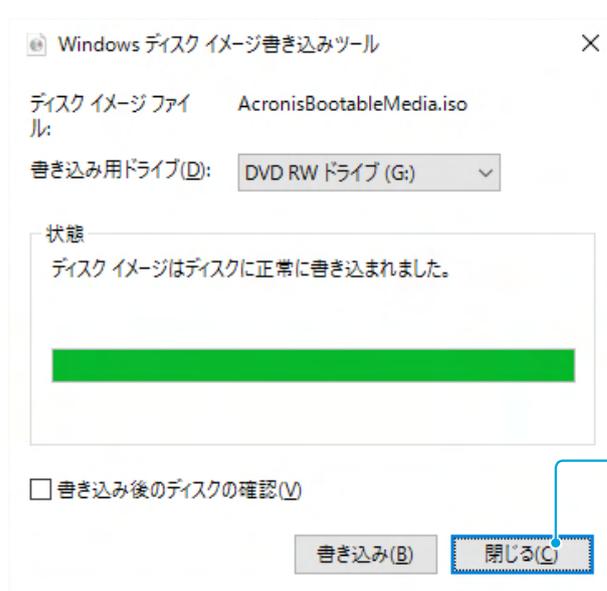
9



①本製品の仮想 DVD-RW ドライ
ブを選ぶ

②[書き込み] をクリック

10



[閉じる] をクリック

以上で、レスキューメディアができました。
次に**【④バックアップする】** (15 ページ) をご覧ください。

④バックアップする

パソコン全体のデータを本製品のHDD領域にバックアップする手順例を説明しています。十分な容量があるバックアップの保存先をお選びください。

使い方

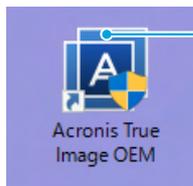
バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

1

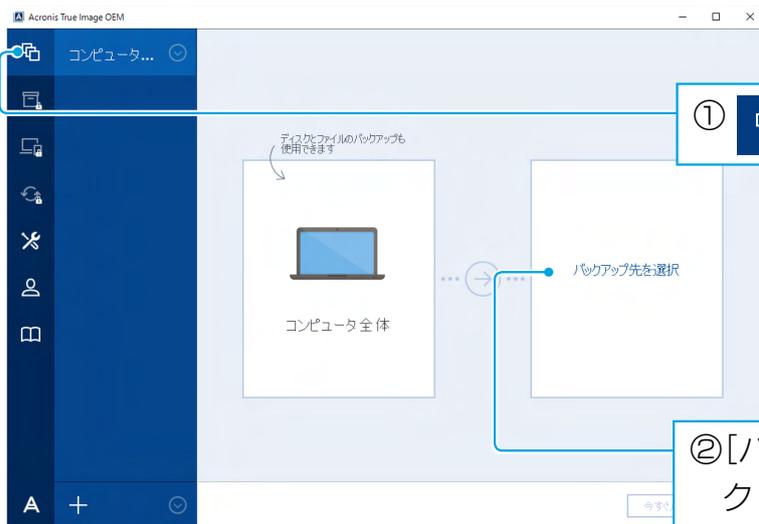


Acronis True Image OEM

[Acronis True Image OEM] をダブルクリック

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。

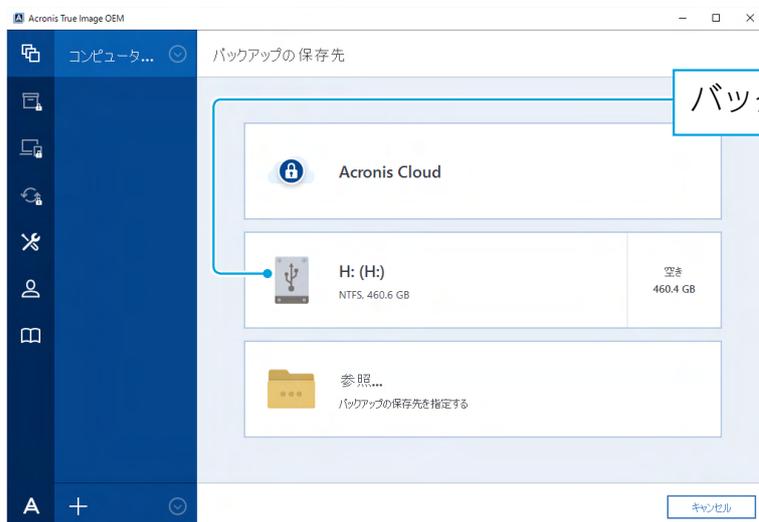
2



① [] をクリック

② [バックアップ先を選択] をクリック

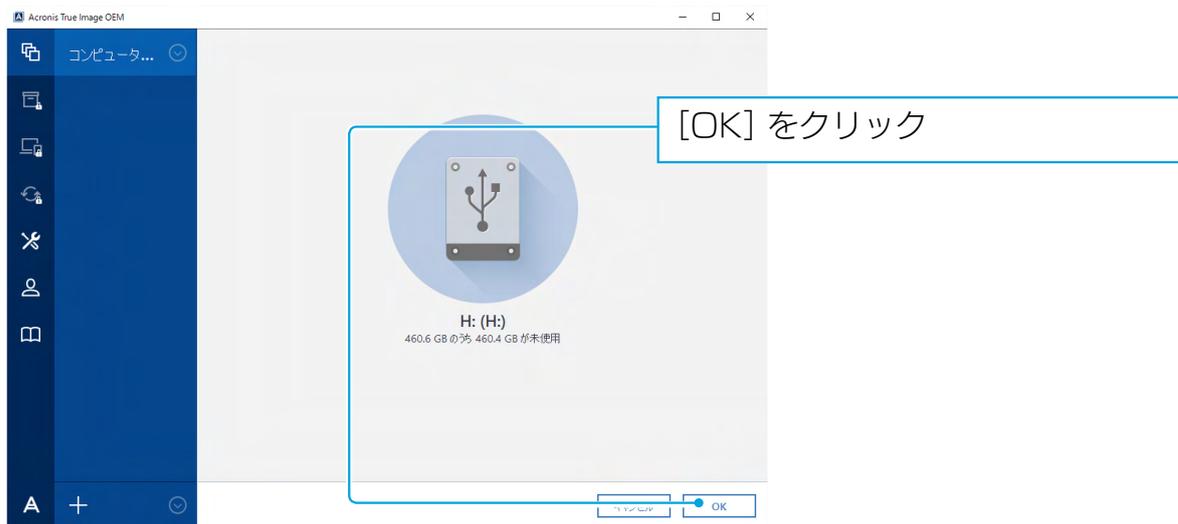
3



バックアップの保存先をクリック

※ここでは、本製品を選択しています。

4



5



バックアップを開始します。しばらくお待ちください。
 バックアップデータからリカバリー（復元）する場合は、[【⑤リカバリーする】（17 ページ）](#)をご覧ください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

⑤リカバリーする

パソコンが起動できなくなった場合には③で作成したレスキューメディアから起動し、④でバックアップしたデータからリカバリーします。

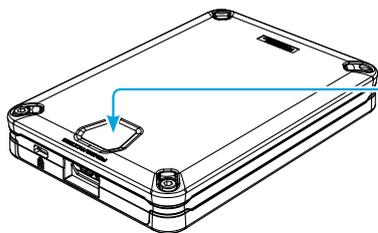
リカバリー対象ドライブについてのご注意

- リカバリー対象のドライブは、フォーマット済みであることをご確認ください。未フォーマットのドライブへはリカバリーできません。

- 1 リカバリーするパソコンのBIOSを開き、[USB] [CD-ROM] から起動するように設定する
※BIOSの起動方法は、お使いのパソコンの取扱説明書をご確認ください。
(リカバリー完了後は、設定を元に戻してください。)

- 2 いったんパソコンの電源を切る

- 3 本製品のA面を上にしてつなぐ



ランプが上面にくるように置く

- 4 パソコンの電源を入れる
⇒②で作成した本製品のDVD-RWにあるレスキューメディアから起動します。

- 5 起動メニューから[Acronis True Image OEM] を選ぶ

このあと、画面の指示にしたがってリカバリーしてください。
詳しい方法は、Acronis True Image のヘルプをご覧ください。

フォーマットする

フォーマットとは？

HDDをお使いのパソコンでデータを読み書きできる状態にする作業です。
フォーマットにはいくつか種類があり、お使いのOSにより認識できるフォーマット形式が異なります。

NTFS (出荷時設定)	Windows 用のファイルシステムです。 4GB 以上のファイルも保存できます。 Macでは読み込みのみ可能です。(保存はできません。)
exFAT	Windows と Macのどちらでも使用できるファイルシステムです。 4GB 以上のファイルも保存できます。
FAT32	Windows と Macのどちらでも使用できるファイルシステムです。 4GB 以上のファイルを保存することはできません。
Mac OS 拡張形式(HFS+)	Mac 専用の形式です。 4GB 以上のファイルも保存できます。 Windows では使用できません。 Mac上でフォーマットが必要です。 ※フォーマット方法は、【画面で見るマニュアル(Mac編)】をご覧ください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「コピーする

フォーマットする

弊社製「I-O DATA ハードディスクフォーマッタ」を使用してフォーマットします。

フォーマットする前にご確認ください

- フォーマットするとデータはすべて消去されます。事前に必要なデータを別のメディアにバックアップしてください。
- 誤消去を防ぐため、他のUSB 機器はできるだけ取り外しておくことを強くおすすめします。

1 I-O DATAハードディスクフォーマッタを起動する

I-O DATA ハードディスクフォーマッタのダウンロード方法

①インストールするパソコンから、次のURL（弊社サポートライブラリ）にアクセスする
<http://www.iodata.jp/r/2107>

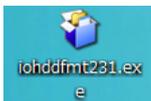
②お使いのOSのアイコンをクリック



③[ダウンロード]をクリック



④ダウンロードしたファイルのアイコンをダブルクリック



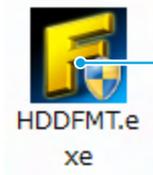
⑤以下の画面が表示された場合は、[実行]をクリック



※このあと、iohddfntxxx というフォルダーが作成されます。この中のHDDFMT.exeをダブルクリックして起動します。



2



[HDDFMT.exe]を起動

3



①フォーマットするHDD/SSD
を選ぶ

②[次へ]をクリック

4



①フォーマット形式を選ぶ

※フォーマット形式は、【フォーマットとは?】
(18 ページ)をご確認ください。

②[次へ]をクリック

5



[はい]をクリック

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「書き出す」

6



①内容を確認し、選ぶ

②[次へ]をクリック

7



[実行]をクリック

フォーマットが始まります。しばらくお待ちください。

8



[完了]をクリック

これでフォーマット完了です。

パーティションを作り直す

作業前にご確認ください

- コンピューターの管理者権限でログオンしてください。
- パーティションを作り直すとデータは消去されます。事前に必要なデータを別のメディアにバックアップしておいてください。
- 誤消去を防ぐため、他のUSB 機器はできるだけ取り外しておくことを強くおすすめします。

使い方

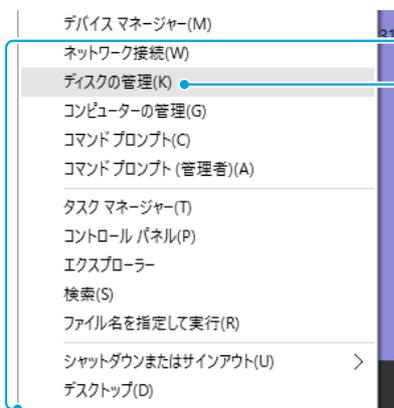
バックアップする

フォーマットする

困ったときは

データを「पी」する

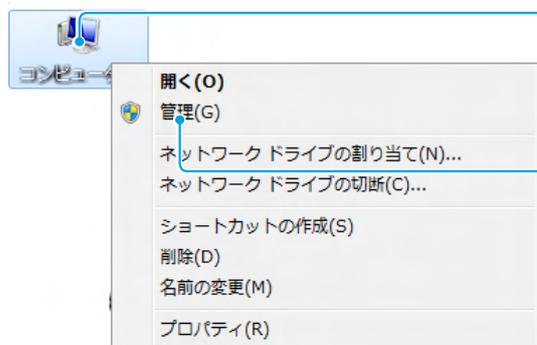
1



①画面左下にマウスカursorを合わせて、右クリック

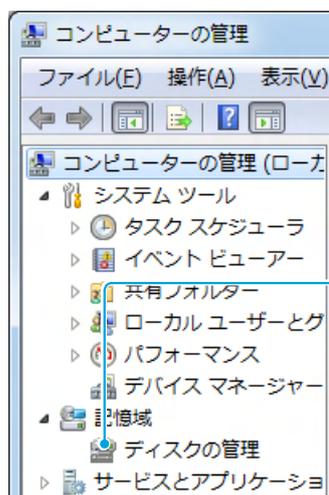
②[ディスクの管理]をクリック

Windows 7 以前の OS の場合



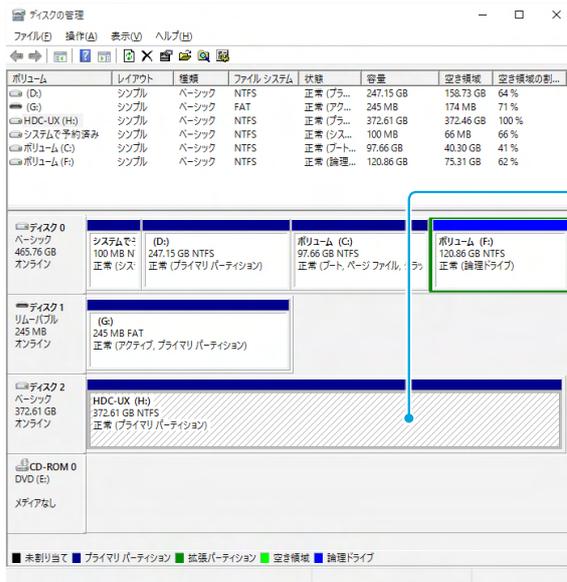
①[コンピューター]を右クリック

②[管理]をクリック



③[ディスクの管理]をクリック

2



①クリックして選ぶ

②[Delete]キーを押す

3



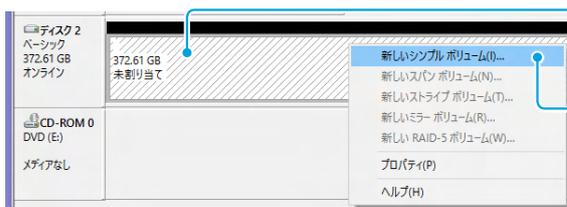
[はい]をクリック

パーティションが削除され、[未割り当て]になります。

[未割り当て]ではなく、[空き領域]になる場合

拡張パーティションの中の論理ドライブを削除しています。
つづけて、[空き領域]も削除してください。

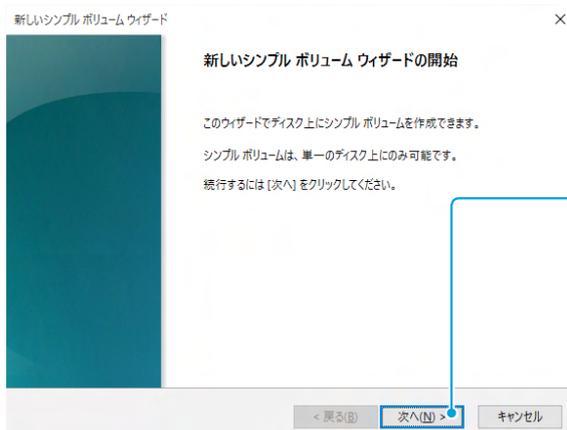
4



①[未割り当て]で右クリック

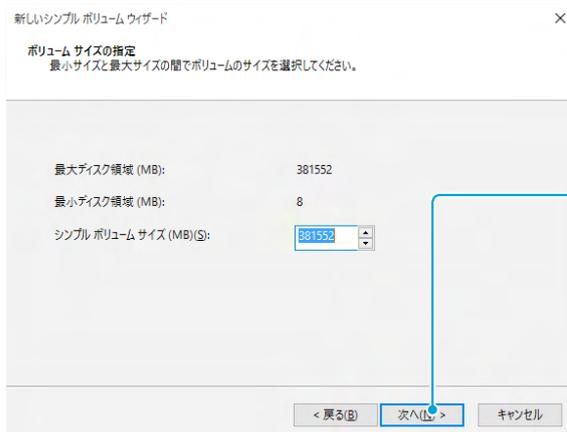
②[新しいシンプルボリューム]をクリック

5



[次へ]をクリック

6

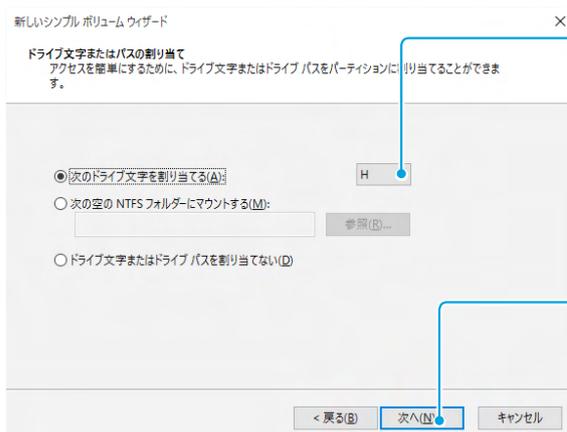


シンプルボリュームサイズを設定し、[次へ]をクリック

HDD を分割して使用する場合

上の例では、HDDを分割せず1つのパーティションとして設定しています。分割する場合は、シンプルボリュームサイズを使い切らずに残しておきます。

7



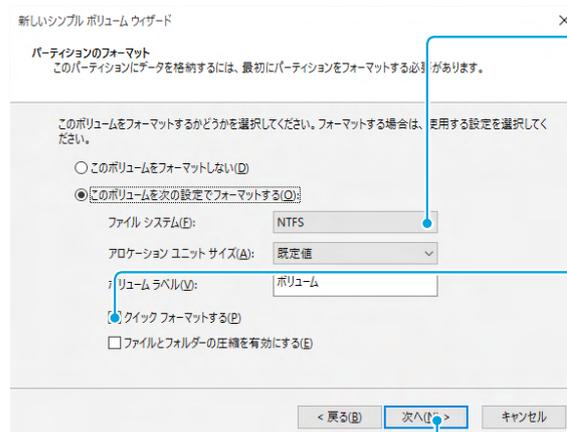
①ドライブ文字を確認

②[次へ]をクリック

ドライブ文字の割り当て

[次のドライブ文字を割り当てる]には空いているドライブ文字を選択してください。(初期値は、自動的に空いていると判別したドライブ文字が表示されます。)

8



①ファイルシステムを選ぶ

②[クイックフォーマットする]にチェック

③[次へ]をクリック

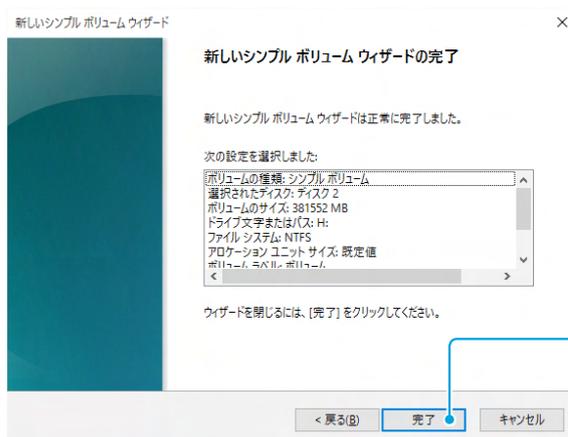
使い方

バックアップする

フォーマットする

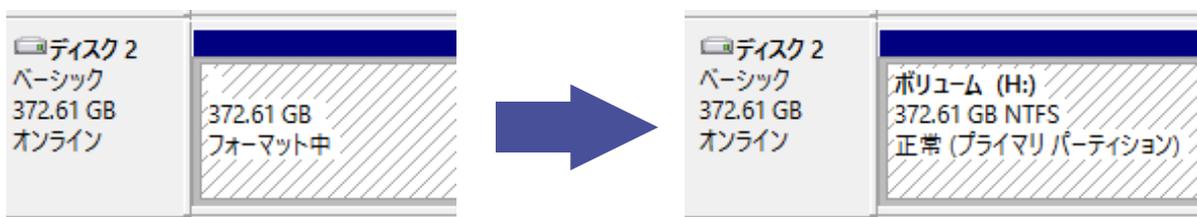
困ったときは

データを「コピーする



[完了]をクリック

パーティションの作成とフォーマットが始まります。
[フォーマット中]から[正常]になるまで、しばらくお待ちください。



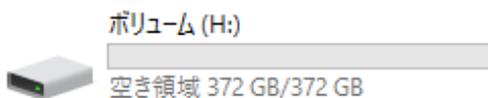
HDD を分割して使用する場合

HDDを複数のパーティションで分割する場合は、もう一度手順5 (パーティションの作成) から同様に作業をおこない、[未割り当て]領域をパーティションに割り当ててください。

これでパーティションの作成は完了です。
[ディスクの管理]画面を閉じます。

[コンピューター]アイコンをダブルクリックして開き、HDDのアイコンがあるか確認します。
新しいドライブ文字のアイコンが、HDDのアイコンです。

▼ドライブ文字がHに設定された例



困ったときには

本製品のアイコンがない（正常に認識されない）

- 最新の情報が表示されていません。
更新ボタン （または[最新の情報に更新]）をクリックしてください。
- いったん取り外し、再度接続しなおしてご確認ください。
- 接続するUSBポートを変えてご確認ください。USBハブに接続している場合は、パソコン本体のUSBポートに接続してください。
- A面/B面を切り替える場合は、いったん本製品を取り外してから、目的の面を上にして再接続してください。
- Macの専用フォーマットの場合は、Windowsでアイコンが表示されません。
Windowsでお使いになる場合は、フォーマットし直す必要があります。
※フォーマットすると、保存されたデータはすべて消去されます。
- 他のUSB機器を使用している場合は、他のUSB機器の使用が終わってから、本製品をつなぎなおしてください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「पी」する

仮想 CD-ROM や仮想 DVD-RW にアクセスすると、「メディアを挿入してください」と表示される

いったん本製品を取り外し、再接続してください。
（[【起動中に取り外す場合】（5 ページ）](#) 参照）

本製品のランプが点灯しない

- パソコンのUSBポートの電源供給能力が低く、動作が安定しない場合や、電源コンセントに接続していないUSBハブ（モニターやキーボードにあるUSBポートを含む）に接続する場合は、別売の弊社製ACアダプター（USB-ACADP5）を使用してください。
※USB-ACADP5 を使用していて、認識されなくなったときは、ACアダプターを電源コンセントから抜き差ししてください。
- パソコンの電源が入っていません。電源の入っているパソコンに接続してください。
- 故障している可能性があります。弊社修理センターにご依頼ください。

スリープ / 休止状態から戻ると、本製品が認識されていない

スリープ / 休止状態から復帰する際に、認識されないことがあります。
本製品を取り外し、もう一度接続してください。
それでも認識されない場合は、パソコンを再起動してください。
ご利用のパソコンとの組み合わせにより、スリープ / 休止状態などの省電力機能はご利用いただけない場合があります。

パソコンから取り外す際に、警告が表示される

正しい取り外し手順をおこなってください。

パソコンの電源を切っても、本製品のランプが消えない

- 環境により、パソコンの電源を切っても、電源が自動的に切れない場合があります。
(または、パソコンによっては、電源を切ってもポートに電源が供給されている場合があります。)
この場合は、本製品の電源は入ったままになりますので、そのままパソコンから取り外してください。
- インターフェイスが正しく認識されていません。各パソコンの取扱説明書をご覧になり、正常に認識されているかをご確認ください。

本製品から OS を起動できない

OSの起動は、サポートしておりません。

USB ハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

USBハブによっては、本製品が正常に動作しない場合があります。
USBハブから本製品を取り外し、パソコンのUSBポートに接続してください。
また、USBハブにACアダプターを取り付けられる場合は、ACアダプターを取り付けて電源を供給してください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動途中でパソコンが動かなくなる

- 本製品を接続した状態でパソコンの起動をすると起動できなくなることがあります。本製品を取り外した状態でパソコンを起動してください。
- ケーブルの接触や、USB ハブやパソコン環境との問題がないか確認してください。
 - ・ 接続するポートを変えてください。USBハブに接続している場合は、パソコンのポートに直接接続してください。
 - ・ 各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。
 - ・ 他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し認識するか確認してください。

本製品を接続すると、パソコンが動かなくなる

本製品を接続してパソコンを起動すると、Safe モードになる

- ケーブルの接触や、USBハブやパソコン環境との問題がないか確認してください。
- ・ 接続するポートを変えてください。USBハブに接続している場合は、パソコンのポートに直接接続してください。
 - ・ 各ケーブルを挿し直し、接触がゆるくないかを確認してください。
 - ・ 他に接続可能なパソコンがある場合は、そちらに接続し認識するか確認してください。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときは

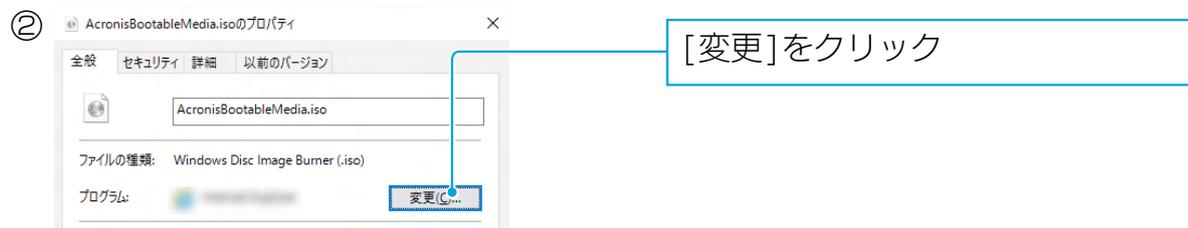
データを「コピー」する

ISO ファイルの右クリックメニューに [開く] ([ディスクイメージの書き出し]) が表示されない

以下の手順をお試しください。

● Windows 10、8 の場合

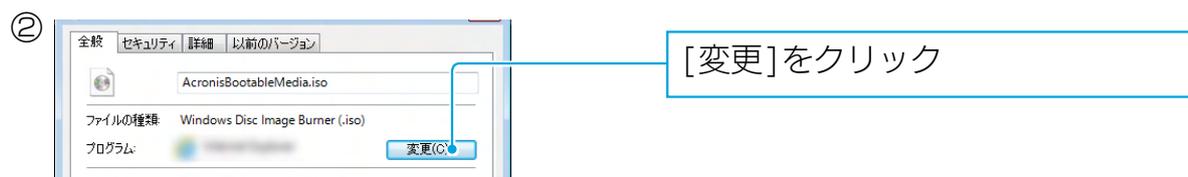
① 作成した ISO ファイルを右クリックして、[プロパティ] をクリック



③ [エクスプローラー] を選ぶ
これで設定は完了です。

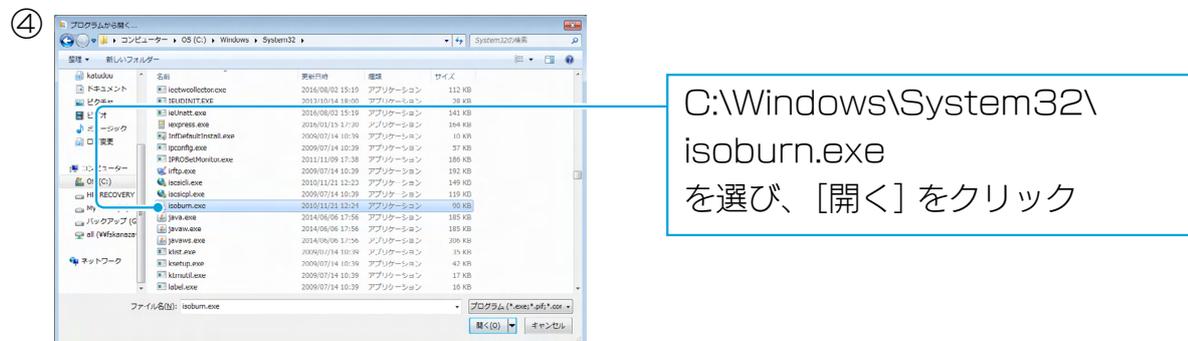
● Windows 7 の場合

① 作成した ISO ファイルを右クリックして、[プロパティ] をクリック



③ [参照] を選ぶ

※ 選択肢に [Windows ディスク イメージ書き込みツール] がある場合はここで選び、完了です。



これで設定は完了です。

使い方

バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「コピー」する



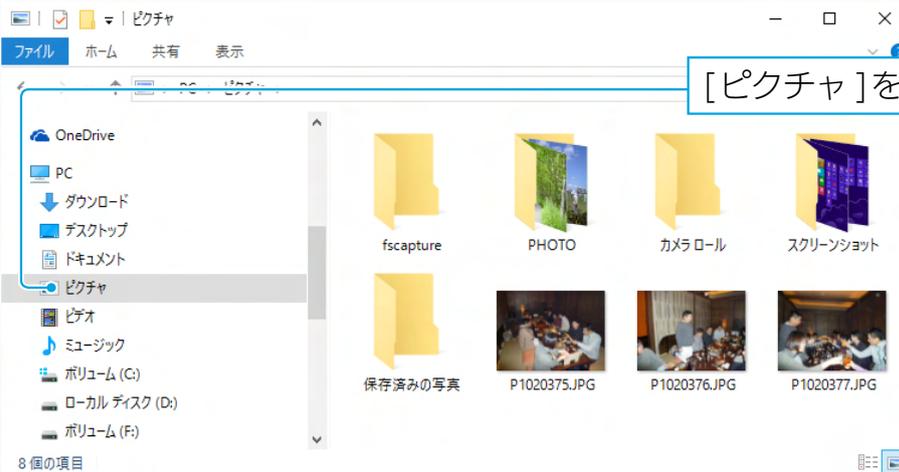
※Windows 10での事例です。

1 データの保存場所を開く

画面下の  アイコンをクリック



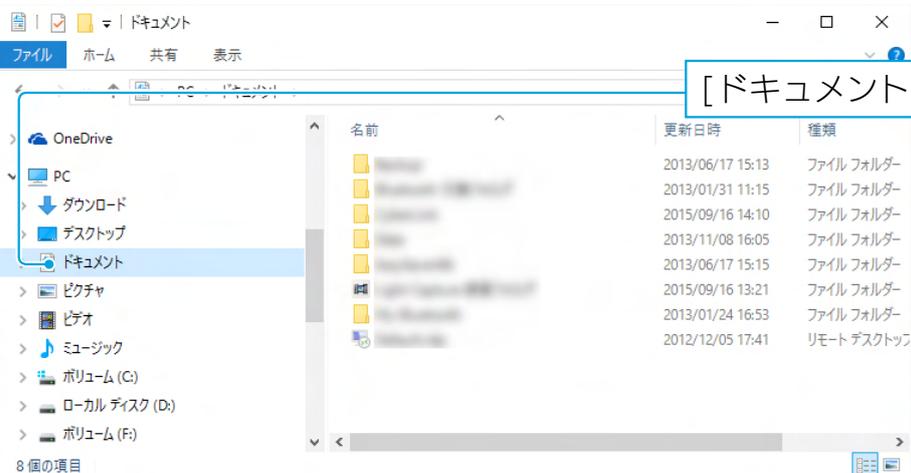
例) 写真データがピクチャに保存されている場合



写真データの保存場所がわからない場合

カメラに添付のソフトウェアを使用して写真データをパソコンに保存されている場合、各ソフトウェアにより保存場所が異なることがあります。カメラ等の取扱説明書で保管場所をご確認ください。

例) 文書データがドキュメントに保存されている場合



データの保存場所がわからない場合

ご使用のソフトウェア取扱説明書で保管場所をご確認ください。

使い方

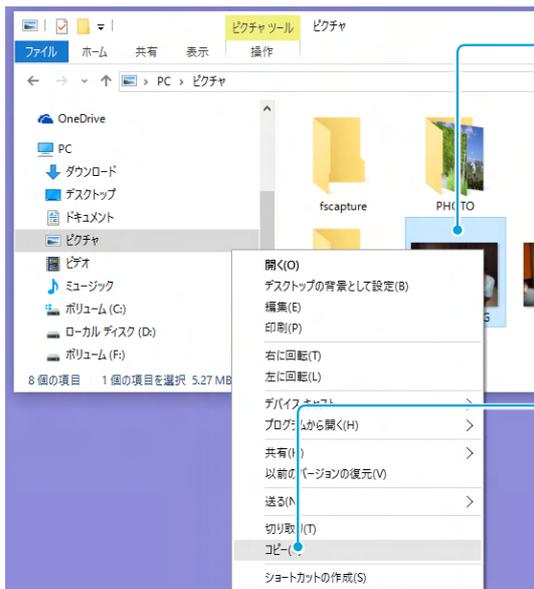
バックアップする

フォーマットする

困ったときは

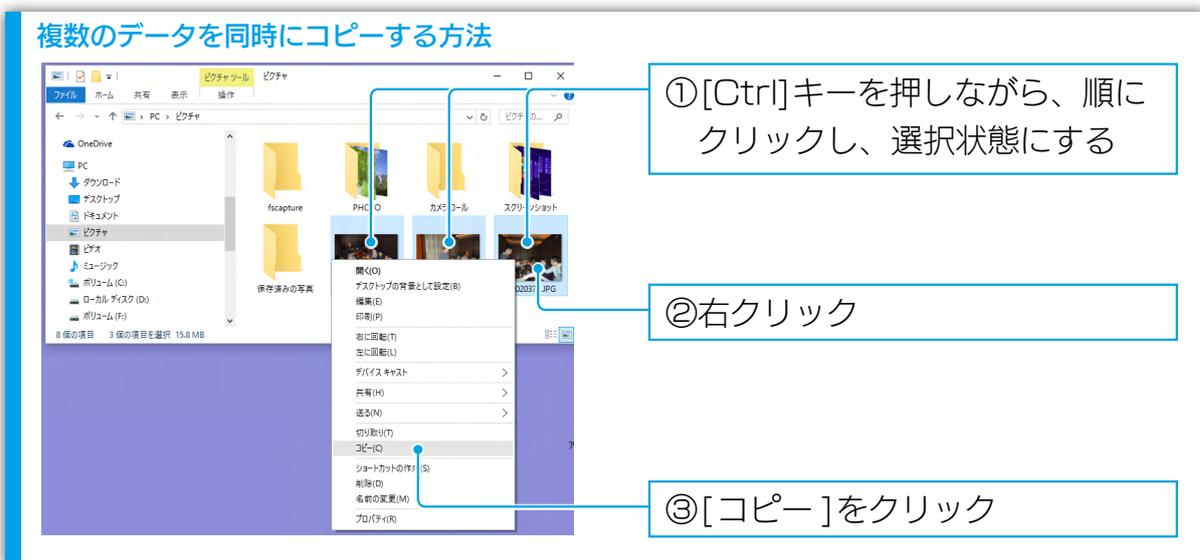
データを「コピーする」

2 コピーするデータを選ぶ



①コピーするデータを右クリック

②[コピー]をクリック



複数のデータを同時にコピーする方法

①[Ctrl]キーを押しながら、順にクリックし、選択状態にする

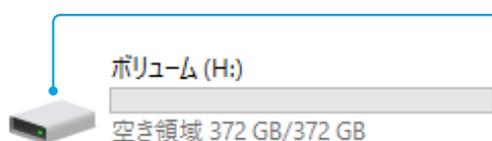
②右クリック

③[コピー]をクリック

3 コピー先(HDD/SSD)を開く



①画面下の アイコンをクリック



②コピー先のHDD/SSDをダブルクリック

使い方

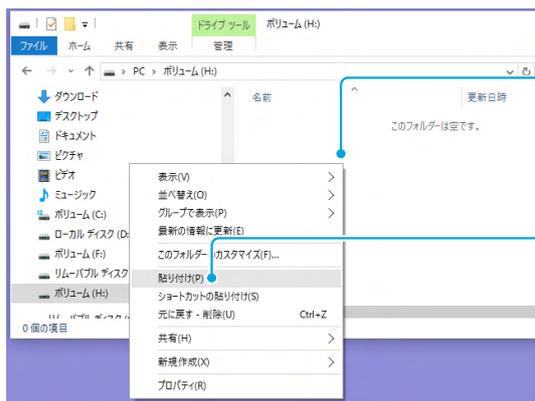
バックアップする

フォーマットする

困ったときには

データを「コピー」する

4 データをコピー（貼り付け）する



①ウィンドウ内で右クリック

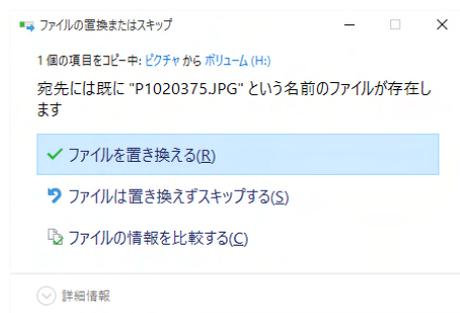
②[貼り付け]をクリック

ドラッグ&ドロップでもコピーできます

同じHDD/SSD内のフォルダーへコピーする場合は、ドラッグ&ドロップでコピーしないでください。（データの移動になり、元の場所からファイルが無くなります。）

コピー先に同じ名前のファイルがある場合

コピー先フォルダーに同じ名前のファイルがある場合、以下の画面が表示されます。



ファイルを書き換える	上書きコピーします。
ファイルを書き換えずスキップする	コピーされません。
ファイル情報を比較する	両ファイルの情報を見て選びます。

これでデータのコピーは完了です。

[【マニュアルアンケートはこちら】](#)

よりよいマニュアル作りのため、アンケートにご協力願います。

●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。